

SAFETY JOGGER

INDUSTRIAL



軽作業用、

ECOMORRIS S1P LOW S1 PS

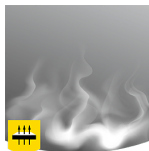
ECOMORRIS

私たちのECOMORRIS安全靴には、足と環境の両方を守るとい
う明確な使命があります！リサイクルアッパーやバイオベースの
PUアウトソールなど、100%リサイクル素材を使用することでこ
れを実現しています。不織布ミッドソールやナノカーボンセーフ
ティトゥキャップなどの超軽量安全機能を備えています。

アッパー	リサイクル#マイクロファイバー、シンセティックヌバック
裏地	リサイクルメッシュ
フットベッド	SJフォームフットベッド
ミッドソール	不織布
アウトソール	BIOベースのBASF PU
トゥーキャップ	ナノカーボン
ブ	
カテゴリー	S1 PS / SR, ESD, フェードアウト
サイズ範囲	EU 35-48 / UK 3.0-13.0 / US 3.0-13.5 JPN 21.5-31.5 / KOR 230-315
サンプル重量	0.458 kg
規範	ASTM F2413:2018 EN ISO 20345:2022



BLK



通気性の良いアッパー
湿度#温度管理を強化し、快適な
着心地を実現しました。



静電気放電 (ESD)
ESDは、電子部品を損傷する
可能性のある静電気エネルギー
の制御された放電を提供し、静
電気から生じる発火の危険を回
避する。100 KiloOhmから100
MegaOhmの間の体積抵抗。



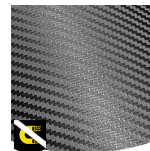
ヒールエネルギー吸収
ヒールのエネルギー吸収によ
り、ジャンプやランニングが着
用者の身体に与える衝撃を軽減
します。



ナノカーボントゥーキャップ
超軽量ハイテク素材、熱や電気
の伝導がないメタルフリー。



耐油#耐燃料
アウトソールは耐油#耐燃料性。



メタルフリー
金属無料安全靴は、一般的に通
常の安全靴よりも軽いです。彼
らはまた、金属探知機を数回、
日を通して必要がある専門家
のために非常に有益です。

産業分野:

組立, オートモーティブ, 産業分野, ロジスティクス

エンバイロメント:

ドライ環境, 極端に滑りやすい路面, 高温の表面

メンテナンス方法:

靴を長持ちさせるために、定期的にクリーニングし、適切な製品で保護することをお勧めします。靴を暖房器具の上で乾燥させたり、熱源の近くで乾燥させたりしないでください。

	商品説明	測定単位	結果	EN ISO 20345
アップパー	リサイクル#マイクロファイバー, シンセティックヌバック			
	上段: 水蒸気透過性	mg/cm ² /h	39.96	≥ 0.8
	上段: 水蒸気係数	mg/cm ²	320	≥ 15
裏地	リサイクルメッシュ			
	裏地: 水蒸気透過性	mg/cm ² /h	50.38	≥ 2
	裏地: 水蒸気係数	mg/cm ²	403	≥ 20
フットベッド	SJフォームフットベッド			
	フットベッド: 耐摩耗性 (ドライ / ウェット) (サイクル)	しゅうぎ	Dry 25600 cycles/Wet 12800 cycles	25600/12800
アウトソール	BIOベースのBASF PU			
	アウトソールの耐摩耗性 (ボリュームロス)	mm ³	91mm ³ (Density:0.45g/cm ³)	≤ 150
	基本的な滑り抵抗 - セラミック+NaLS - 前方ヒールスリップ	フリクション	0.34	≥ 0.31
	基本スリップ抵抗 - セラミック+NaLS - 後方前進スリップ	フリクション	0.37	≥ 0.36
	SR 耐滑性 - セラミック+グリセリン - 前方ヒールスリップ	フリクション	0.22	≥ 0.19
	SRスリップ抵抗 - セラミック+グリセリン - 後方前進スリップ	フリクション	0.24	≥ 0.22
	帯電防止値	メガオーム	Dry:52.4 Wet:22.3	0.1 - 1000
ESD値	メガオーム	6.1	0.1 - 100	
	ヒールエネルギー吸収	J	28	≥ 20
トゥーキャップ	ナノカーボン			
	耐衝撃性トゥーキャップ (衝撃後クリアランス100J)	mm	N/A	N/A
	耐圧縮トゥーキャップ (10kN圧縮後のクリアランス)	mm	N/A	N/A
	耐衝撃トゥーキャップ (衝撃後クリアランス200J)	mm	15.5	≥ 14
	耐圧縮トゥーキャップ (圧縮後のクリアランス15kN)	mm	20.0	≥ 14

サンプル数: 42

当社の靴は常に進化しており、上記の技術データは変更される可能性があります。すべての製品名とブランド名Safety Joggerは登録されており、当社の書面による同意なしに、いかなる形式でも使用または複製することはできません。